



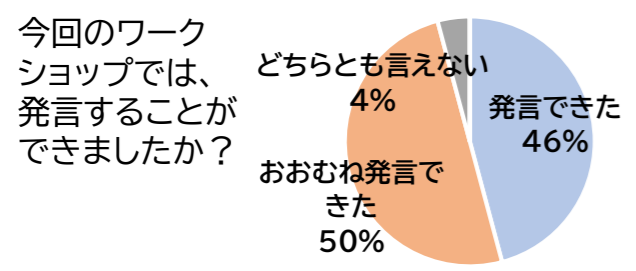
詳しくは
リノベニュース
第3号
の別紙を
ご覧ください！

高田近隣センター リノベーションニュース

発行: 柏市 地域づくり推進部 地域支援課 (2022年1月)

第3回リノベーションワークショップが開催されました！ リノベーションの配置計画(ゾーニング)を考えよう！

■第3回目のふりかえりアンケートの結果についてお知らせします。



- 【主なご意見】
- 大切な図面の段階なのでもう少し熟考したいなと思いました。
 - 外構、アプローチの改修程度について聞きたかった。
 - 皆さんいっぱい発言が出来て、リノベーションをよくしたい考えていると思います。

■リノベーション事業の進め方をお知らせします。



ワークショップのスケジュール

終了	第1回	11月13日(土) 14:00~17:00	高田近隣センターの現状を確認しよう
終了	第2回	12月4日(土) 10:00~12:00	リノベーションの方針と必要な機能を考えよう
終了	第3回	1月8日(土) 10:00~12:00	新しい近隣センターのデザインを考えよう①
次回	第4回	2月5日(土) 10:00~12:00	新しい近隣センターのデザインを考えよう②
	第5回	3月5日(土) 10:00~12:00	新しい近隣センターのデザイン(案)を確認しよう

高田近隣センター
リノベーション事業
特設サイトを
開設しています！



<https://www.city.kashiwa.lg.jp/chikishien/region/cho kai/topics/renovation.html>

●お寄せください！

地域のみなさまのご意見をお寄せください。ご意見は随時ご意見箱(近隣センター内に設置)で受け付けております。頂いたご意見はワークショップ時の検討材料として活用させていただきます。



2022年1月8日(土曜日)10時から高田近隣センター体育室において、第3回高田近隣センターリノベーションワークショップが開催されました。高田近隣センターの利用者や、高田・松ヶ崎地域にお住まいの方25名にお集まりいただき、5つの班に分かれて熱心な話し合いが行われました。今回は、その様子をお伝えします！



ワークショップでは 活発な意見交換が行われました！

-----当日のプログラム-----

- 1.あいさつ 趣旨説明
- 2.本日の進め方の説明
- 3.前回のふりかえり
- 4.ゾーニング(案)について
- 5.ワークショップ
 - ①これまでのワークショップを踏まえてリノベーションに向けたゾーニング案を考えよう！
 - ②各テーブルからの報告
 - ③まとめ・ふりかえり
- 6.あいさつ~閉会~



~このリノベーションニュースは柏市地域支援課が発行しています~

問い合わせ先: 柏市 地域づくり推進部 地域支援課 担当: 藪崎・佐藤
TEL:04-7167-1126 FAX:04-7167-6644
メール: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

■これまでの議論をもとに、リノベーションの可能性を示したゾーニング案の説明を行いました。

詳細は別紙をご覧ください



ホールから南西窓越しの緑をみるイメージ

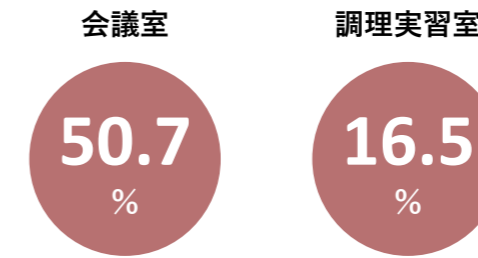
検討のポイント

- ゾーニングの可能性を示した図では、AB案とも1階は南北の軸、2階は東西の軸が強調されました。
- AB案とも中央のテラスの天井を高くし、吹き抜け空間を創って緑地へ抜ける視線・動線ができあがります。
- AB案はエレベーターの位置と動線、階段を二つとも残すかどうか、エントランススロープの位置が大きく異なります。

■その他の検討ポイント

リノベーション案を検討をする際に、参考となるポイントを整理しました。

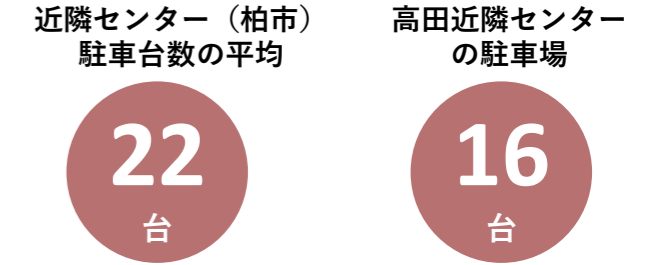
①各部屋の利用率について



※2020年度の年間利用率

各部屋の利用率を見ると、体育室の次に会議室の利用が高く、調理実習室が低い状況にあります。これまでに、「調理実習室を会議室として利用している」というご意見もありました。調理室としての利用はもう少し低くなるのが予想されます。

②他センターの駐車台数について



柏市内にある近隣センターの駐車台数を確認しました。平均で22台でした。高田近隣センターは現在16台駐車することができるため、極端に駐車台数が少ないということではありません。現在の駐車台数は確保しながら、利用しやすい駐車場を検討する必要があります。

■2つのゾーニング案をもとに、ゾーニングについて話し合いを行いました。ここでは主な意見をお伝えします。

個室	主な意見	方向性
図書館	配置	● 図書館は1階で検討 ● 図書館にキッズスペースを
	使い方	
	床材	
調理実習室	広さ	● 調理実習室の広さは現状より小さく(おおよそ半分程度の広さに) ● 会議室としても活用できる
	配置	
	使い方	
和室	広さ	● 和室の広さは現状より小さく
事務室	配置	● 事務室の配置は出入口の近く
ふるさと協議会事務室	配置	● ふるさと協議会の事務所を設置する ● 事務所の配置は2階に ● 和室、会議室の近くに
いきいきセンター	配置	● いきいきセンターを設置する ● いきいきセンターの配置は1階に
会議室	配置	● 会議室は2階に ● 広さは大・小選べるように ● 多目的に利用する ● 可動式の間仕切りを設置 ● 床材は管理がしやすいフローリングやマットに
	広さ	
	使い方	
	床材	
フリースペース	● カフェ、キッズスペースを設置するなど多目的な利用も検討すべき	● キッズスペースや多目的な利用ができる場所が求められている

共用部	主な意見	方向性
AB案から感じたこと	● 今後30年建物を活用することを踏まえて、平面プランを検討すべき ● サークルなどで使用する部屋は2階に集約させたい ● デッドスペースをなくしたい	● 1階に開放感を持たせる
外との繋がり	● 公園側からも出入りできるように ● ウッドデッキがあるのがよい	● 高田緑地との繋がりが求められている
階段	● 避難動線を考えると2か所必要である ● スペースの有効活用を踏まえて1か所にするのがよい ● 地上から屋上まで行ける外階段が欲しい	● 避難経路が確保されたうえで、屋内の階段を一つにすることで、面積の有効活用を図ることができる
エレベーター	● スロープ、階段、出入口、調理実習室等の近くが良い ● B案の位置がよい	● エレベーターは出入口、階段、スロープ等の近くに設置
ホール・ロビー	● 入ったときに明るく開放感が欲しい。エントランスのイメージはB案が良い ● 高田緑地側のウッドデッキへ出入りができるとよい ● 読書スペース、作品展示場所の設置 ● テーブルや椅子などの設置 ● 吹き抜けの熱効率対策が必要	● 明るく、開放感があることが求められている ● 多目的な使い方ができる場所が求められている
テラス	● テラスを一部屋内にしたい ● 総2階が理想的(吹き抜けも個室にする)新しい機能が導入できるように、吹き抜け部分を一部分でも屋内にしたい	● 床面積の増加があまりできないなかで、有効的な平面計画の検討が求められる
トイレ	● 利用頻度が高い和室や会議室の近くにあるので利便性が良い	● 平面プランと合わせて検討

その他 災害時の使い方も考えておくべきである。屋上の利用も検討したい。外構の検討も行いたい(歩車分離、花壇の配置)など